



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

全日本プロバス協議会

プロバスだより

特 集 号

2023 年 1 月 12 日発行

編集・発行：情報委員会

第 10 回総会・東京八王子大会の記録

## 全日本プロバス協議会

### 第 10 回総会・東京大会の概要

〔山と平野のふれ合うまち東京八王子  
「交流・学び合い」プロビアン集い〕

日 時 令和 4 年 11 月 24 日（木）13:00～19:30

場 所 京王プラザホテル八王子

ホストクラブ 東京八王子プロバスクラブ

コ・ホストクラブ 東京多摩プロバスクラブ

東京日野プロバスクラブ

埼玉浮き城プロバスクラブ

後 援 八王子市

八王子市教育委員会

東京八王子南ロータリークラブ

公益社団法人八王子観光コンベンション協会

事業主体 東京八王子 2022 実行委員会

大会のコンセプト

- (1) 懇親と「交流・学び合い」の融合
- (2) 日本遺産八王子へようこそ
- (3) 近隣友好クラブとコ・ホスト体制の構築

#### 1. 全日本プロバス協議会第 10 回総会

##### 第 1 部〔セレモニー〕

##### ◎ 来賓のご臨席を得て

全日本プロバス協議会第 10 回総会を開催



##### 第 2 部〔議案審議〕

- ◎ 前年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算案、会則の一部改正、常任理事・理事の役員改選等の議案を審議。原案通り可決された。





◎ 古賀会長から田中新会長へ



◎ 新役員の紹介と前役員への感謝



## 2. 東京八王子大会

### 第1部〔わがプロバス活動〕

プレゼンテーションとして、3地区のクラブから活動状況等の報告があった。

- ・東京八王子プロバスクラブ 杉山 友一元会長
- ・プロバスクラブ松任 北川 邦昭 会長
- ・びわ湖大津プロバスクラブ 香川 晃一 会長



なお、「わがプロバス活動」のアンケート調査には 35 クラブから回答があり、その概要も合わせて報告された。

## 第2部 歓迎イベント

◎ ホストクラブ 池田会長の歓迎挨拶



◎ 歓迎コンサート

八王子プロバスクラブのシニア・ダンディーズの男声合唱を中心に、田中三佐代さんのソプラノの独唱・田中信昭会員



(アルト・サクソ)・武田洋一郎会員(トロンボーン)の演奏等が披露された。

さらに参加者全員で「上を向いて歩こう」の大合唱となり、会場は大いに盛り上がった。

◎ シニア・ダンディーズの晴れ姿





### 第3部 懇親会

#### ◎ 日本遺産八王子の文化「八王子芸妓」の踊り



#### ◎ 広がる交流・懇親の輪



### 3. エクスカーション

#### 「日本遺産・高尾山の秋を楽しむ」

日 時 11月25日(金) 8:00～14:30

参加人員 51名

#### ◎ 紅葉に迎えられ、高尾登山のケーブル駅へ



#### ◎ ケーブルカーは「貸し切り」で



#### ◎ わずか10分余りで山頂駅に到着





◎ 参道のお茶屋さんの前で一休み



◎ 薬王院・原田さんの案内で奥の院を一巡り



◎ 高尾山名物・精進料理での昼食会



◎ ご法話記念に佐藤秀仁貫主を囲んで



## 東京八王子 2022 実行委員会

委員長 一瀬 明

事務局長 持田 律三

委 員

立川富美代 池田ときえ 杉山 友一

飯田富美子 馬場 征彦 田中 信昭

河合 和郎 山口 三郎 齊藤真理子

オブザーバー

野口 浩平 根本 照代 鈴木はるみ

土屋三千代 (敬称略)

◎今回の東京八王子大会の開催に対し、公益社団法人八王子観光コンベンション協会から、事業費の補助や資料等の提供、さらには25日の高尾山巡りでは、職員の方々の応援参加も頂きました。これらのご支援に対し深甚な感謝を申し上げます。

## 八王子大会を終わって

東京八王子プロバスクラブ

会 長 池田ときえ

全日本プロバス協議会全国大会も無事に終わりました。晴天に恵まれた二日間、全国からのプロビアンの皆様には八王子を大いに楽しみ、理解して頂いたことと思います。24日のスムーズな総会運営、交流会の多くの学び、そして歓迎イベントでのシニア・ダンディーズの見事な男性合唱、懇親会で披露された日本遺産八王子芸妓衆の歓迎の踊りと接待など、賑やかな懇親の夕べは、交流・親交をより深め、名残を惜しみつつ御開きとなりました。

この企画準備に当たられた実行委員会の皆様のご労苦に対して心からの感謝を申し上げます。

25日の高尾山巡りは51名の参加者がありました。朝8時にバスでホテルを出発、一路高尾山へ。車中では根本会員が沿線の詳しい解説をしてくださいました。30分程の行程でしたが、甲州街道の歴史や多摩御陵の案内などに車内が和みました。

早朝の出発により、ケーブルカーも貸し切りで山頂駅へ到着。参道の紅葉や眺望を楽しみつつ奥の院へ。そして護摩焚き、参拝、貫首のご法話、精進料理の昼食会などなど、高尾の秋を満喫し、予定の時間に下山することができました。

今回特筆すべきは担当の女性会員の活躍です。例年お山が一番混む紅葉の季節、迷子にならないようお客様は赤、地元勢は青の薄手のジャンパーが用意され、スムーズなご案内ができました。更に今回の事業をご支援頂いた八王子観光コンベンション協会からもお二人の応援参加があり、人数の確認や後尾の確認、道中の説明などお手伝いを頂きました。参加者の皆様からも賞賛の声があったことを申し添えます。この高尾山のツアーを企画担当された飯田会員、齊藤会員、土屋会員、鈴木会員、根本会員の皆様、本当にありがとうございました。

最後に、常日頃から八王子プロバスクラブの活動は地元八王子の大勢の方々のご支援によって支えられています。八王子市、南ロータリークラブ、八王子ボランティアネットワーク、市民活動協議会、観光コンベンション協会などの皆様です。今回も会友として多数の方々にご参加くださいました。改めて心からの御礼を申し上げます。

## 4と10と「東京八王子2022」

東京八王子2022 実行委員会

委員長 一瀬 明

「東京八王子2022」が終わった。キーワードは4と10。コロナ禍のため前回の五所川原大会が開催できず4年ぶりに全国のプロビアンが顔を合わせる事ができたこと、また先達たちが積み上げてきた全日本の総会・大会が10回目を迎えることになったことであり、大きな意味を持つ大会であった。

そこここでの弾けるような笑顔での再会の喜び合いや握手、それぞれに特色ある活動のプレゼンテーションや手作りの歓迎コンサート、日本遺産の八王子ならではの芸妓衆の踊りや高尾山エクスカーションなど、「交流と学び合い」の蓄積の大きさを改めて感じた2日間であった。天気も味方してくれ、2日間の好天はまさに天の恵みであった。

財政的には参加費の全員徴収、懇親会持ち込み酒類の提供など会員各位のご協力に加えてMICEの助成金もあり、大きな赤字を出すことなくほぼ当初の見込み通りで収まった。

当クラブだけでなく外部の力も大きなサポートとなった。コ・ホストとして東京多摩プロバスクラブや東京日野プロバスクラブ、埼玉浮き城プロバスクラブの皆さまに参加の啓蒙、当日の役割分担などで大変お世話になった。また会友の皆様にもたくさん参加いただき会を盛り上げていただいた。ニコニコ募金への参加者からの賛助や観光コンベンション協会のバックアップも大きかった。

大会の実施を決めた臨時総会からは約2年、実行委員会は16回を数えた。その間実行委員をはじめサポーターの皆様には大変なご苦勞をおかけしたが一所懸命取り組んでいただいた。

一方で反省点も多い。手提げ袋に入れた資料が一部で不足していたり、資料の説明が十分でなかったり、時間配分で長短の戸惑いがあったり、お帰りのお見送りを揃ってできなかったりと反省会でいくつか挙げられた。今後のこの種の大会運営に生かすべき点である。

とにもかくにも大イベントを終えてほっとしているというのが実感である。評価はお帰りになった全国のプロビアンにさせていただけるもの、そう考えている。



## ＜全日本プロバス協議会 八王子総会＞に思う

杉山 友一

2022 八王子総会は 11 月 24・25 の両日、又とない秋日和に恵まれて盛会裏に無事終了しました。関係各位のお骨折りに改めて感謝と敬意を表したいと思います。

大会では、旧知の方々との久しぶりの再会、新しい方々との素晴らしい出会いの連続で正しくプロバス効果 100% の一日でした。日本の文化の特性は農耕民族として培ってきた集団文化といえる側面があると思いますが、久方ぶりに皆で円卓を囲み、飲食を楽しみながら談論風発する会場に幸せな笑顔が交錯する、市民社会の本来あるべき姿が演出されました。そして二日目の高尾山エクスカッションもまた好天、これ以上の成果は望めないほどに参加者一同心地よく、充実した一日であったと思います。

今年就任されたばかりの若き佐藤秀仁新貫主、その 40 分間の法話は、厳しい修行を経た体现者の真言として心打たれました。改めて祈りの本質とは、と自身に問いかける良い機会ともなりました。

### ＜クラブは高齢者人材の宝庫＞

クラブ一つ一つの力量は小さくとも、全国的に眺めれば、長い人生峠をしっかりと乗り越えてきた人生の有段者たちの集まりとして、プロバスクラブは間違いなく高齢人材の宝庫であり、社会資源としての大きな価値を有する団体です。問題はそれらの人的資源をどう活用して、地域の枠、クラブの枠を飛び超えた活動に繋げていき、社会的な影響力、プロバスの成果に繋げていけるか、難題ながら今後の大きな宿題が残ったと言えるかもしれません。

### ＜プロバス会員の現状＞（交流会資料）

全日本協議会加盟 PC 会員数は、2022 総会アンケート回答クラブの 35 クラブ×23.8 人＝833 人に加えて、未回答 6 クラブ×概数 20 人＝120 人を加え、凡そ 1,000 人弱とみられます。その他全日本協議会未加盟クラブ 38 クラブ（2021. 10. 1 資料）×20 人＝760 人規模を加えると現時点でのプロビアン総数は多く見ても 2,000 人弱と予想されます。

かつて、日本のプロビアン 4,000 人と言われた時代から見れば半減しているのが現状ということになります。時代に沿わせたクラブづくりが喫緊の課題です。

## ＜プロバスクラブの認知度の向上＞

今回の交流会でも、地域の中でプロバスクラブの認知度、知名度が思うように上がらないとの発言が相次ぎました。しかしこの点は、そもそもロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等々を念頭においても所詮無理な話です。彼らの組織には依って立つ「綱領」があり、奉仕が目的の活動体として、広報を担うオフィシャルセンターを持っています。一方、プロバスクラブは、あちこちのクラブで「楽しくなければプロバスではない」が標語に掲げられるように、まずは内政重視の組織ですから、そのままでは外部の認知度、知名度が上がるわけありません。地域との関わりの中で、個々のクラブの地道な活動の結果として積み上げられるものとの覚悟が必要でしょう。

### ＜会員の高齢化問題＞

第 10 回 2022 八王子総会を直前にして、次年度大会のホスト予定のクラブが全国協議会を脱会するという驚きのニュースが飛び込んできました。設立後 8 年の当該クラブは会員 40 名規模で、内外に亘って活動する大変活発なクラブです。さて、その後、時の経過とともに、事の経緯が伝わってきてみれば、事由の根幹にはどこのクラブにも共通する課題が横たわっていることが理解できます。その理由は、クラブ会員の高齢化に伴う戦力低下への懸念、金銭を含めて、過重な負担はこの先クラブを毀損するという認識の高まりでした。八王子としても他人事ではなく、今後、抜本的な対策の検討が急がれるところです。

### ＜今後のこと＞

2022 八王子総会で得た知見を基に、これからの八王子プロバスクラブのあるべき姿を展望し、具体的な行動を試みる 2023 年でありたいと願っております。「年はとってお舟を漕ぐ時は、元気いっぱい櫓がしなる」、そんな八王子クラブが初夢です。

#### 編集後記

第 10 回全日本プロバス協議会総会・東京大会の概要を記録しておく目的でプロバスだよりの「特集号」を発行しました。

大会を振り返る縁となれば幸いです。

情報委員会

